

【 決算委員会 】

(1) 審議概観

〔平成3年度決算外2件の審査〕

平成3年度決算及び国有財産関係2件は、第126回国会に提出された。3年度決算については、平成5年6月11日の本会議において大蔵大臣からその概要について報告を受け、質疑が行われた後、委員会に付託された。

第130回国会までに全般的質疑が2回、省庁別審査が5回行われ、第130回国会閉会後には省庁別審査が更に5回行われた。そして、9月16日には、内閣総理大臣の出席を求めて締めくくりの総括的質疑が行われた。

同国会閉会後に行われた質疑の主な項目は、①政権交代と決算審査、②財政状況の認識と税制改革、③税収見積りと実績の乖離、④租税徴収の過不足状況、⑤防衛予算に占める国庫債務負担行為と継続費の割合、⑥私立学校への国庫補助の状況、⑦会計検査機能の強化方策、⑧政府開発援助に対する会計検査の状況、⑨中小企業設備近代化資金の不当貸付、⑩公共工事の入札・契約制度の改善策、⑪公益法人の事業運営の実態及び指導監督のあり方、⑫米軍車両有料道路通行証の不正使用、⑬元従軍慰安婦等戦後処理関連諸問題、⑭ルワンダPKO派遣等である。

質疑を終局した後、討論に入り、まず委員長より平成3年度決算の議決案が示された。その内容は、「1. 本件決算は、これを是認する。2. 内閣に対し、次のとおり警告する。(以下6項目<略>)」というものである。

討論では、日本共産党より、決算外2件について是認することに反対し、内閣に対する警告案については賛成する旨の意見が述べられた後、自由民主党、日本社会党・護憲民主連合及び公明党・国民会議より、決算外2件を是認することに賛成するとともに、内閣に対する警告案についても賛成する旨の意見が述べられた。

以上で討論を終局し、採決に入り、平成3年度決算は賛成多数をもって是認すべきものと議決され、内閣に対する警告案は全会一致をもって警告すべきものと議決された。また、平成3年度国有財産増減及び現在額総計算書並びに平成3年度国有財産無償貸付状況総計算書については、いずれも賛成多数をもつ

て是認すべきものと議決された。

内閣に対する警告の骨子は、(1)正確な経済見通しの策定及び税収見積りの精度向上、(2)義務教育費国庫負担金等の交付適正化、(3)国民年金の未納保険料の解消、(4)輸入米の安全性確保、(5)公共工事をめぐる不祥事件の再発防止、(6)国の補助事業にかかる地方公共団体発注工事の審査体制確保である。(全文は、Ⅲ 本会議の審議概要中【平成3年度決算に対する議決】を参照されたい。)

〔平成4年度決算外2件の審査〕

平成4年度決算及び国有財産関係2件は、第129回国会召集日の平成6年1月31日に国会に提出された。うち国有財産関係2件は、同日、委員会に付託され、4年度決算については、本会議における概要説明・質疑を経て平成6年12月2日に付託されたが、いずれも審査に入るに至らなかった。

平成4年度決算の概要は、次のとおりである。

平成4年度一般会計歳入歳出決算における歳入決算額は71兆4,659億円、歳出決算額は70兆4,974億円である。歳入決算額には、決算調整資金からの受入額1兆5,447億円が含まれており、これにより同年度の歳入歳出の決算上の不足額(歳入欠陥)が補てんされている。4年度一般会計予算中の翌年度への繰越額は9,607億円、また、不用額は8,006億円である。

平成4年度特別会計歳入歳出決算における38の各特別会計の収納済歳入額を合計した歳入決算額は220兆7,930億円、支出済歳出額を合計した歳出決算額は188兆7,982億円である。

平成4年度国税収納金整理資金受払計算書における資金への収納済額は60兆2,925億円であり、資金からの支払命令済額は4兆1,693億円、一般会計等の歳入への組入額は56兆1,134億円である。

平成4年度政府関係機関決算書における11機関の収入済額を合計した収入決算額は6兆6,815億円、支出済額を合計した支出決算額は6兆3,788億円である。

国有財産関係2件の概要は、次のとおりである。

平成4年度国有財産増減及び現在額総計算書における4年度中の国有財産の差引純増加額は4兆5,532億円、4年度末現在額は77兆5,314億円である。

平成4年度国有財産無償貸付状況総計算書における4年度中の国有財産の無償貸付の差引純増加額は67億円、4年度末現在額は1兆7,104億円である。

〔国政調査等〕

国家財政の経理及び国有財産の管理に関する実情調査のため、第130回国会閉会後の平成6年9月26日から28日までの3日間、宮城県及び青森県に委員を派遣した。その派遣報告は、第131回国会に入った10月21日に行われた。

（2）委員会経過

○平成6年8月24日（水）（第130回国会閉会後第1回）

平成3年度決算外2件中、外務省関係について河野外務大臣、会計検査院及び外務省当局に対し質疑を行った。

○平成6年8月25日（木）（第130回国会閉会後第2回）

平成3年度決算外2件中、建設省、環境庁、国土庁及び住宅金融公庫関係について野坂建設大臣、小澤国土庁長官、宮下環境庁長官、国土庁、建設省、運輸省、自治省、公正取引委員会、会計検査院、環境庁、消防庁、気象庁、総務庁当局、参考人住宅金融公庫総裁高橋進君及び環境事業団理事長藤史郎君に対し質疑を行った。

○平成6年9月1日（木）（第130回国会閉会後第3回）

平成3年度決算外2件中、内閣、総理府本府、大蔵省、文部省、国民金融公庫、日本開発銀行及び日本輸出入銀行関係について五十嵐内閣官房長官、武村大蔵大臣、与謝野文部大臣、国税庁、文部省、大蔵省、建設省、内閣官房、総理府、法務省、総務庁、気象庁、文化庁及び沖縄開発庁当局に対し質疑を行った。

○平成6年9月2日（金）（第130回国会閉会後第4回）

平成3年度決算外2件中、通商産業省、防衛庁、中小企業金融公庫及び中小企業信用保険公庫関係について橋本通商産業大臣、玉沢防衛庁長官、通商産業省、防衛庁、中小企業庁、会計検査院、防衛施設庁、外務省、資源エネルギー庁当局及び参考人日本道路公団理事山田幸作君に対し質疑を行った。

○平成6年9月16日（金）（第130回国会閉会後第5回）

平成3年度決算外2件について村山内閣総理大臣、武村大蔵大臣、橋本通

商産業大臣、大河原農林水産大臣、井出厚生大臣、野坂建設大臣、小澤国土
庁長官、大出郵政大臣、五十嵐内閣官房長官、野中自治大臣、山口総務庁長
官、河野外務大臣、与謝野文部大臣、田中科学技術庁長官、前田法務大臣、
亀井運輸大臣、浜本労働大臣、大蔵省、通商産業省、中小企業庁、建設省、
厚生省、国税庁、外務省、郵政省、法務省及び総理府当局に対し質疑を行い、
討論の後、

平成 3 年度一般会計歳入歳出決算、平成 3 年度特別会計歳入歳出決算、平
成 3 年度国税収納金整理資金受払計算書、平成 3 年度政府関係機関決算書
を議決し、

平成 3 年度国有財産増減及び現在額総計算書

平成 3 年度国有財産無償貸付状況総計算書

をいずれも是認すべきものと議決した後、

武村大蔵大臣、与謝野文部大臣、井出厚生大臣、大河原農林水産大臣、野坂
建設大臣及び野中自治大臣から発言があった。

(平成 3 年度決算外 2 件)

賛成会派 自、社、新緑、公、護憲

反対会派 共、二院

○平成 6 年 10 月 21 日 (金) (第 1 回)

理事の補欠選任を行った。

国家財政の経理及び国有財産の管理に関する調査を行うことを決定した。

派遣委員から報告を聴いた。

○平成 6 年 12 月 8 日 (木) (第 2 回)

平成 4 年度決算外 2 件の継続審査要求書並びに国家財政の経理及び国有財
産の管理に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。

平成 4 年度決算外 2 件の審査並びに国家財政の経理及び国有財産の管理に
関する調査のため政府関係機関等の役職員を閉会中必要に応じ参考人として
出席を求めることを決定した。

閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。

(3) 付託議案審議表

・決算その他(6件)

※は第130回国会閉会後における議決
備考欄記載事項は本院についてのもの

件名	提出月日	参議院			衆議院			備考
		委員会付託	委員会決議	本会議決議	委員会付託	委員会決議	本会議決議	
平成3年度一般会計歳入歳出決算、平成3年度特別会計歳入歳出決算、平成3年度国税収納金整理資金受払計算書、平成3年度政府関係機関決算書	5. 1. 22 (第126回国会)	6. 1. 31	6. 9. 16 ※議決	6. 10. 4 議決				第126回国会 大蔵大臣報告 未了 第127回国会 継続 第128回国会 未了 第129, 130回国 会 継続
平成3年度国有財産増減及び現在額総計算書	1. 22 (第126回国会)	1. 31	9. 16 ※議決	10. 4 議決				第126回国会 未了 第127回国会 継続 第128回国会 未了 第129, 130回 国会 継続
平成3年度国有財産無償貸付状況総計算書	1. 22 (第126回国会)	1. 31	9. 16 ※議決	10. 4 議決				

件名	提出月日	参議院			衆議院			備考
		委員会付託	委員会決議	本会議決	委員会付託	委員会決議	本会議決	
平成4年度一般会計歳入歳出決算、平成4年度特別会計歳入歳出決算、平成4年度国税収納金整理資金受払計算書、平成4年度政府関係機関決算書	6. 1. 31 (第129回国会)	6.12. 2	継続審査		6. 9. 30	継続審査		第129, 130回国会 未了 6.12. 2 大蔵大臣報告
平成4年度国有財産増減及び現在額総計算書	1. 31 (第129回国会)	9. 30	継続審査		9. 30	継続審査	}	第129, 130回国会 未了
平成4年度国有財産無償貸付状況総計算書	1. 31 (第129回国会)	9. 30	継続審査		9. 30	継続審査		